

2022年12月14日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した2022年12月期通期（2022年1月1日～2022年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想の修正の内容（2022年1月1日～2022年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表予想 (A)	1,186	△1,672	△1,685	△1,740	△128.46円
今回修正予想 (B)	1,363	△1,451	△1,451	△1,513	△111.26円
増減額 (B - A)	176	220	234	227	17.2円
増減率 (%)	14.9%	—	—	—	
(参考) 前期(2021年12月期)実績	2,017	△531	△522	△534	△42.10円

2. 業績予想修正の理由

創薬支援事業における売上が米国および中国を中心に好調に推移しており、前回公表の通期連結売上高予想を上回る見込みとなりました。米国ではバイオベンチャーからのキナーゼタンパク質の需要が高く、米ドル建ての売上が計画を上回って推移しています。中国においてもキナーゼタンパク質の販売が好調に推移し、計画を上回る売上となる見込みです。日本、欧州の売上はほぼ計画どおりとなる見込みであり、創薬支援事業の売上高は前年同期比21.1%増の1,077百万円（前回公表予想比 176百万円増、同19.6%増）になると予想しております。

創薬事業においては、本年2月に米国フレッシュ・トラックス・セラピューティクス社（旧社名 ブリッケル・バイオテック社）にSTINGアンタゴニストを導出したことに伴い契約一時金2百万ドル（227百万円）を受領し、また3月にBTK阻害剤AS-1763の中華圏における開発・商業化に関する権利を導出している中国バイオノバ・ファーマシューティカルズ社からマイルストーン・ペイメント50万ドル（58百万円）を受領しております。創薬事業の売上高は286百万円となる見込みで、前回公表予想から変更ありません。

研究開発費は2,046百万円（前回公表予想比 120百万円減、同5.5%減）となる見込みであり、営業損失は1,451百万円（前回公表予想から220百万円の損失縮小）を計画しています。以上の売上高および営業損失の予想に営業外損益の影響を考慮し、経常損失は1,451百万円（前回公表予想比234百万円の損失縮小）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,513百万円（前回公表予想比227百万円の損失縮小）となる見込みです。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上